

## ■ 概要

TL500-BS50は、当社の多重伝送システムVITY-LINERシリーズのI/Oデータを、NTTなどの電話回線を使用して遠隔地から監視・制御する小型テレメータです。

TL500-BS50は、VITY-LINERシリーズの伝送距離を延長する長距離中継器としても動作します。



## ■ 特徴

### ● 簡単な配線工事

NTTなどの電話回線（専用回線）に接続するだけで、デジタル、アナログ、パルス信号等を伝送します。

### ● ネットワーク to ネットワークに対応

VITY-LINERで構築された監視ネットワークなどのデータを、電話回線経由で管理センターなどのネットワークと容易に双方向接続できます。

### ● 豊富なI/Oユニット

VITY-LINERのラインアップを、そのままI/Oユニットとして使用できます。

### ● データ更新周期

状態変化時にリアルタイムなのはもちろんのこと、定期収集データも最大16ビット（1子局アドレス）あたり約0.5秒で更新します（ただし、最小の更新時間は4.2秒です）。

### ● 自己診断機能

自己診断機能を持っており、メンテナンスが容易です。

### ● 小型・軽量

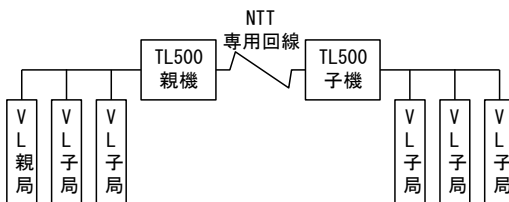
手のひらサイズのコンパクト設計です。

## ■ システム構成

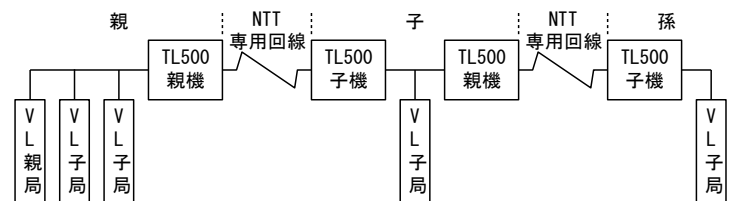
### ● 1:1 構成①



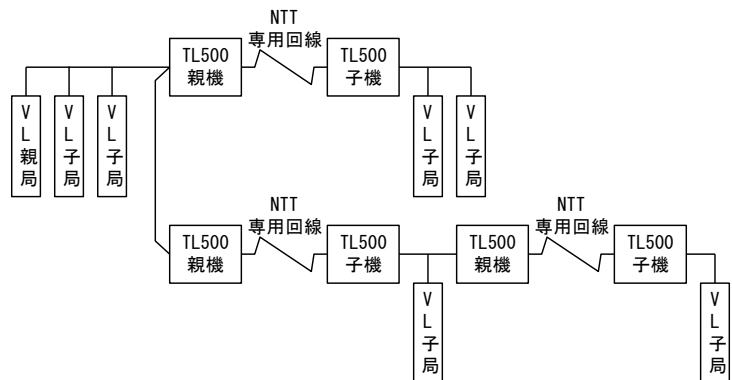
### ● 1:1 構成②



### ● 1:1:1 (親、子、孫) 構成

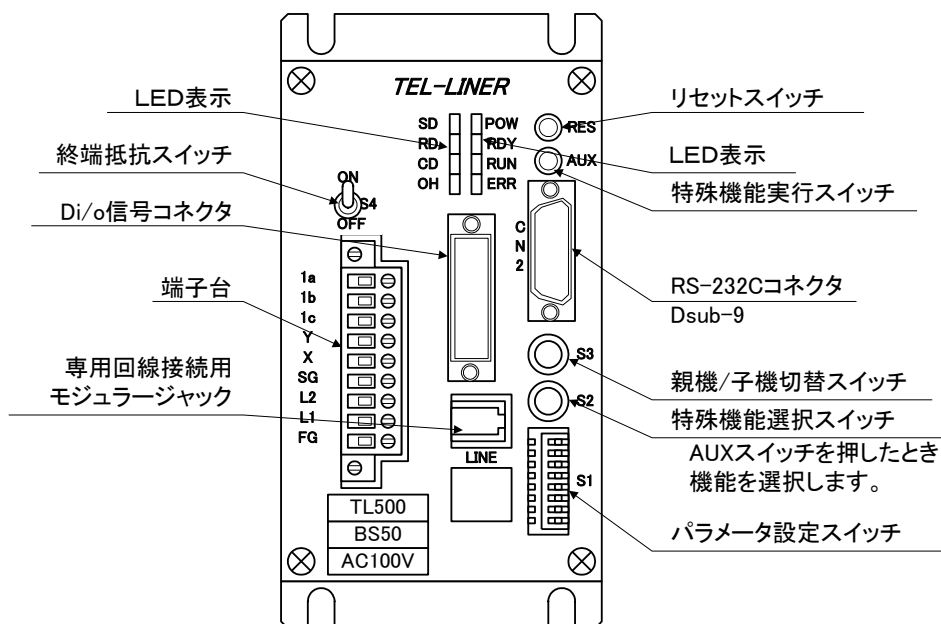


### ● 1:N (親、複数子局) 構成



(注) N:N構成の場合でも、TL500のDI4点/DO4点は使用できます。TL500のDI4点/DO4点はTL500親機-子機間のみで使用し、VITY-LINERのI/Oユニットとしての機能はありません。

## ■各部の名称



### ■LED 表示

LED	内 容
SD	回線にデータを送信中点灯
RD	回線からデータを受信中点灯
CD	相手側 TL500 と通信可能時点灯
OH	回線使用中点灯
POW	正常動作時点灯
RDY	通信状態正常時点灯
RUN	多重伝送の動作正常時点灯
ERR	多重伝送エラーまたは通信エラー時点灯または点滅

### ■端子台

端 子	内 容
1a	アラーム出力 (アラーム時 OFF)
1b	アラーム出力 (アラーム時 ON)
1c	アラームコモン
X、Y	伝送線接続端子 (VITY-LINER 伝送線)
SG	伝送線シールド線接続端子
L1、L2	電源 (AC100V または DC24V)
FG	フレームグランド (接地端子)

### ■Di/o 信号コネクタ (CN1)

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
1A	出力 4C <sup>*1</sup>	1B	出力 4E <sup>*2</sup>
2A	出力 3C	2B	出力 3E
3A	出力 2C	3B	出力 4E
4A	出力 1C	4B	出力 1E
5A	入力 4	5B	入力コモン
6A	入力 3	6B	入力コモン
7A	入力 2	7B	入力コモン
8A	入力 1	8B	入力コモン

\*1: C (コレクタ側)

\*2: E (エミッタ側)

注) CN1 接続用コネクタは、「オプション」下記が適用できます。

コネクタ: FCN-361J016-AU (富士通)

コネクタカバー: FCN-360C016-B (富士通)

### ■外部接続図

